

平成23年度中小企業販路開拓展開等支援事業の実績

事業所名 株式会社 丸二

企業概要

代表者名 代表取締役 西村 和紀
住 所 京都市下京区高辻通堺町東入 泉正寺町 462
U R L <http://www.maruni-kyoto.co.jp/>
主たる事業 内装材料卸, 京からかみ製造発売元

企業紹介 先代より引継いだ表具師(西村高緑堂)から、昭和21年に内装材料卸業に事業転換。和室内装材、主に襖・表具材料の卸販売や施工を行う。からかみでは、古くから伝わる300枚余りの版木を使い、現在も伝統的手法を受け継いで寺社・茶室・住宅の襖紙や壁紙を製作している。また、その手法や版木の味わい・デザイン・文様の意味合いをコンセプトにしたギフト商品を開発している。



補助対象事業の概要

事業のテーマ: 京都伝統工芸の“京からかみ”及びギャラリーを国内外に幅広く認知してもらい、新規販路で発展させる。

事業の目的と具体的内容

- ・DMやパンフレットの配布・ホームページ等でのPR活動によって、これから展開させる唐紙事業の基盤作りを行う。
- ・KARAKAMIギャラリーをより多くの人に認知してもらえる様に誘致活動をする。又その空間を活用して様々な提案を行い、販路拡大・新規顧客の受注に結び付ける。
- ・海外からの観光客に唐紙の魅力をアピールする事で、海外での京都の伝統工芸への関心を広める。
- ・今までとは異なる新規販路先への商材の開発・マーケット戦略を外部デザイン事務所とコンサルタント契約を結んで展開していく。
- ・各種展示会へ積極的に参加して、新商品の発表で新規開拓やパンフレット配布による唐紙のPR活動を行う。

補助金を受けた成果と今後の展開

各展示会・催事では新商品の展示発表やパンフレット配布によるPR活動を行い、その実績として有力な引合い企業26社、内9社と現在新規取引を行っている。多くが首都圏にあり、今後も定期的な営業活動で新規取引に結び付けたい。海外への展示会出展ではパンフレットの配布によるアピールは十分行え、日本伝統工芸の新たな試みと好評を得たが、海外への展開には語学力不足が今後の課題であった。KARAKAMIギャラリーの来場者は“展示会や催事でギャラリーを知ったから”という理由がほとんどで、DMやパンフレットの配布効果が表れている。又、来場者は売上に結び付く確率が非常に高い。今後も継続した活動によって今事業の成果が更に期待出来る。その結果、唐紙に携わる職人達の士気も高まり、技術継承されてゆくであろう。